

第5回日本サービス大賞の応募要領と審査について



目次



日本サービス大賞
NIHON SERVICE AWARD

応募受付から表彰までの流れ P. 3

応募対象者について P. 4

応募書類について P. 6

応募方法(手続き)の流れ P. 7

応募フォーマットの記入について P. 8

審査の流れ P. 12

応募のメリット P. 13

個別相談会の実施について P. 14

応募受付から表彰までの流れ

※ 諸状況により変更になる場合があります。



2024年5月～

1 応募フォーマット公開

- ✓ 日本サービス大賞WEBページで公開

2024年6月3日(月)～7月23日(火)15時

2 応募受付

- ✓ 応募フォーマット(入力済み)をWEB上でアップロードし、応募

2024年8月～9月

3 書類一次審査

- ✓ 応募書類をもとに審査

2024年9月～12月

4 書類二次審査

- ✓ 追加資料の提出をお願いする場合があります

2025年1月～

5 現地審査

- ✓ 経営者ヒアリングと現場確認

※ 現地審査に進まなかった場合は、結果を通知します

2025年夏～秋

6 発表・表彰

- ✓ 最終選考等を経て、発表・表彰

応募対象者について

- ✓ 日本国内に拠点を置く事業者であれば、業種や事業の営利・非営利を問いません
製造業、農林水産業によるサービス事業も応募可能です
- ✓ 応募できるサービス事業は、応募時点で実際に提供しているものに限りです
- ✓ 同一事業者から複数のサービスについて応募可能です（応募はサービスごとに行ってください）
- ✓ 過去に応募したことのあるサービスでも応募可能です

よくあるご質問から

応募可能 主体

- NPO法人・非営利団体のほか、組合・コンソーシアムなどの任意団体
- 日本国内に活動拠点を置く外資系企業
- 小規模事業者や個人（但し、個人は事業者として応募してください）
- 業績が赤字の事業者
- 複数企業・団体で連携して提供しているサービスは、代表者1社を決めた上で応募ください

応募可能 サービス

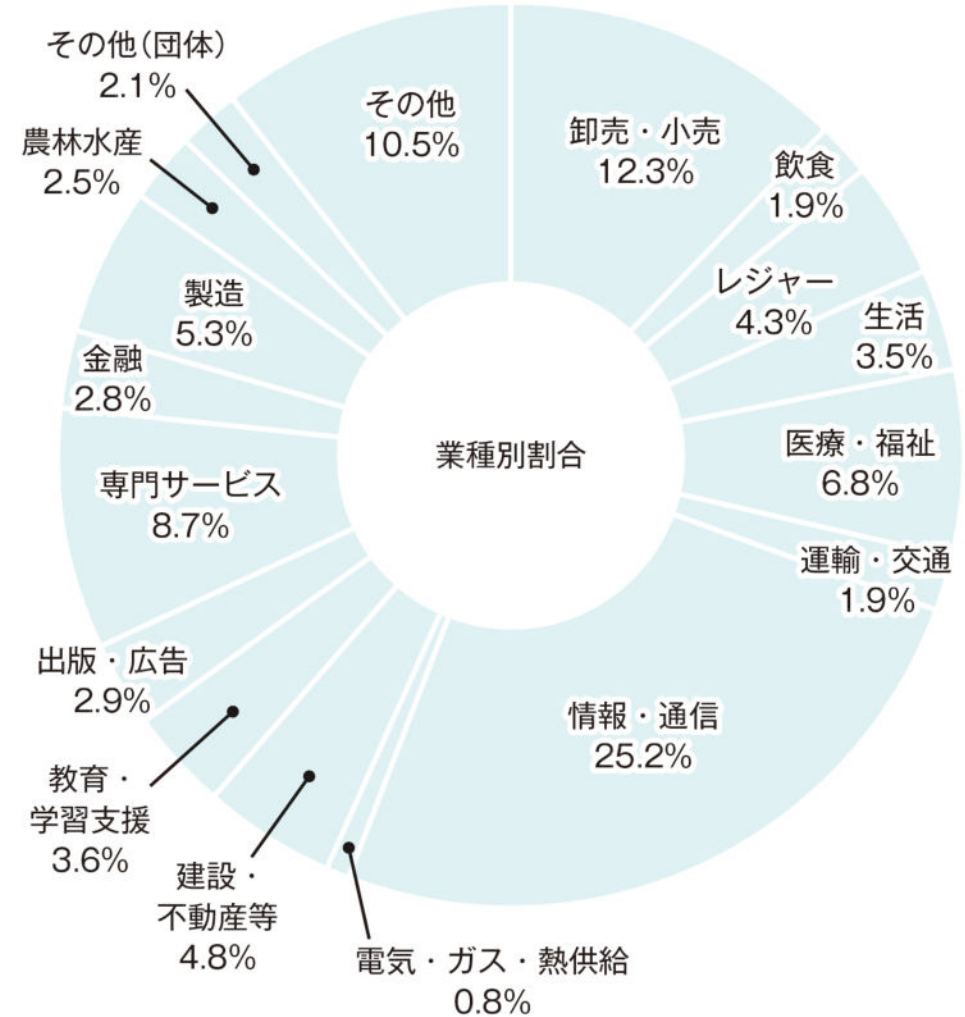
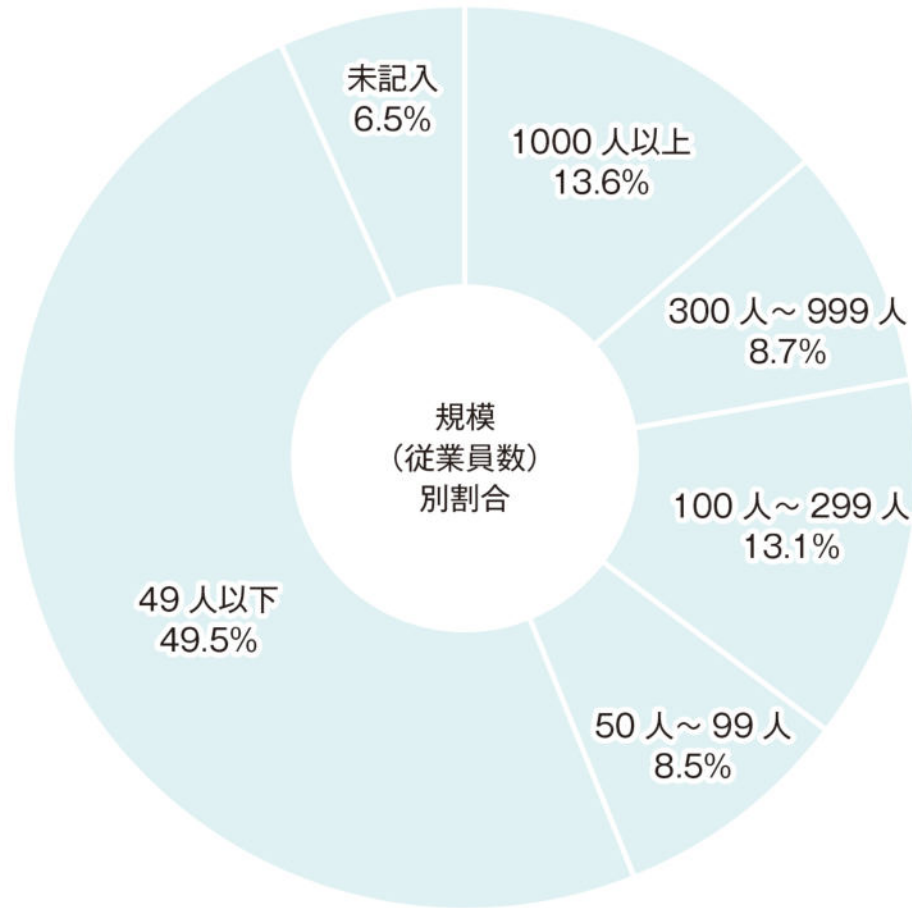
- 製造業の「製品」に付随するサービス（ものづくり行為や製品そのものを除く）
- 海外で提供しているサービス
- 前回までに応募したサービス（前回から変わった点や新たに加わった内容を記載してください）

応募不可 サービス

- 既に終了もしくは終了予定のサービス
- 今後開始予定のサービス

応募対象者について

【参考】第4回の応募実績内訳



前回は、小規模事業者(従業員49人以下)の皆様からの応募が全体の約5割にのびりました。また、幅広い業種・業態の皆様からご応募をいただきました。

応募書類について

	必要書類	入手方法	提出方法	留意点
1	応募フォーマット	✓ 日本サービス大賞 WEBページから ダウンロード	✓ 応募用ページに アップロード	✓ ページ数:5ページ以内 フォント :10.5ポイント以上 ✓ 適宜、図などを用いて分かりやすく説明してください
2	応募時に必要となる情報 (会社名、業種、代表者名、 担当者名など)	✓ 同上	✓ 応募用ページ上で 入力	✓ 応募フォーマットと同時に 「応募時に必要となる情報」を ダウンロードし、予めご準備 ください

日本サービス大賞WEBページ
URL: <https://service-award.jp>



応募方法(手続き)の流れ

1 応募フォーマットのダウンロード

1. 日本サービス大賞WEBページ(<https://service-award.jp/>)にアクセスし、トップページ上の「応募要領(応募フォーマット)」をクリック
2. 「応募フォーマットをダウンロード」をクリックし、ページの流れに沿って必要事項を入力。①「応募フォーマット」、②「応募時に必要となる情報」をダウンロード



- ✓ 日本サービス大賞は、WEBページからご応募いただきます。郵送やFAXでのお申込みは受け付けておりませんので、予めご了承ください。
- ✓ 応募・審査費用は無料です。

2 応募申込み (6月3日(月)~7月23日(火)15時)

1. 「応募フォーマット」に必要事項を入力。また、「応募時に必要となる情報」をもとに、必要情報を予め準備
2. 日本サービス大賞WEBページのトップページ上の「応募要領(応募フォーマット)」をクリック
3. 「応募はこちら」をクリックし、メールアドレスを入力
4. 入力したメールアドレスに、応募用ページのご案内メールが届きます。リンクをクリックし、「応募時に必要となる情報」を入力、作成した「応募フォーマット」をアップロード



- 応募用ページご案内メールのリンクから、
- 「応募時に必要となる情報」を入力
 - 記入済み応募フォーマットをアップロード

応募フォーマットの記入について(1/4)

1ページ目

※全体を5ページ以内におまとめください。(フォント10.5pt以上)

第5回 日本サービス大賞 応募フォーマット

a. 応募事業者とサービス名

a-1. [応募事業者名(会社名/組織名)] ※複数事業者で連携している場合は代表事業者名

a-2. [応募サービス名: タイトル] 30字以内でご記入

※審査・表彰で使用します。応募サービスの革新的で優れた、イメージしやすいタイトルを工夫してみてください。

a-3. [写真] 応募サービスを象徴するような写真を添付してください。(2枚まで。図などの画像も可)

(1枚目) (写真の見出し)

(2枚目) (写真の見出し)

b. サービスの説明

b-1. [サービスの概要] 誰に・何を・どのように提供しているのか、価格も含めて説明してください。(5行程度)

【参考】サービス紹介 Web サイト URL (代表的なものを1つ):

b-2. [サービスの特徴] 同業や従来サービスなどと比べた特徴(優れている点や新しいと思う点)を最大3つまでご記入ください。

※その裏付けとなるような具体的な数字や事例も、ぜひ付け加えてください。

- ①
- ②
- ③

b-3. [サービスをつくりとどけるしくみ] 次のような観点を含めて説明してください。※ぜひ模式図などを使ってください。

- ・よりよいサービスが実現できるように行う顧客とのやりとり、工夫
- ・重視する顧客の要望や期待、その背景など
- ・自社(自組織)での企画・開発・運用の工夫

記入のポイント

1

- ✓ [応募サービス名: タイトル]: サービスの革新的で優れた点がイメージしやすいタイトル(30字以内)

2

- ✓ [写真]: サービスを実際に提供している場面など応募サービスを象徴するような写真、図などの画像も可

3

- ✓ [サービスの概要]: 誰に・何を・どのように提供しているのか、価格も含めて説明(5行程度)



4

- ✓ [サービスの特徴]: 同業や従来サービスと比べた特徴(優れている点や新しいと思う点)最大3つまで

※ その裏付けとなるような具体的な数字や事例も、ぜひ付け加えてください

応募フォーマットの記入について(2/4)

1ページ目 続き

b. サービスの説明	
b-1. [サービスの概要] 誰に・何を・どのように提供しているのか、価格も含めて説明してください。(5行程度)	
【参考】サービス紹介 Web サイト URL (代表的なものを1つ):	
b-2. [サービスの特徴] 同業や従来サービスなどと比べた特徴(優れている点や新しいと思う点)を最大3つまでご記入ください。 ※ その裏付けとなるような具体的な数字や事例も、ぜひ付け加えてください。	
①	
②	
③	
b-3. [サービスをつくりとどけるしくみ] 次のような観点を含めて説明してください。※ ぜひ模式図などを使ってください。 ・よりよいサービスが実現できるように行う顧客とのやりとり、工夫 ・重視する顧客の要望や期待、その背景など ・自社(自組織)での企画・開発・運用の工夫	
	
b-4. [提供開始年月と企画・開発の経緯] 応募サービスの提供開始年月と、企画・開発の経緯を説明してください。	
提供開始年月(西暦)	年 月~
企画・開発の経緯(きっかけや思い、エピソードなど)	
	

記入のポイント

5

- ✓ [サービスをつくりとどけるしくみ]:
次のような観点を含めて説明
- ・よりよいサービスが実現できるように行う顧客とのやりとり、工夫
 - ・重視する顧客の要望や期待、その背景など
 - ・自社(自組織)での企画・開発・運用の工夫
- ※ ぜひ模式図などを使ってください

6

- ✓ [提供開始年月と企画・開発の経緯]:
- ・応募サービスの提供開始年月
 - ・企画・開発の経緯
きっかけや思い、エピソードなど

応募フォーマットの記入について(3/4)

2ページ目

※全体を5ページ以内におまとめください。(フォント 10.5pt 以上)

b-5. **【顧客からの評価】** 応募サービスが顧客からどのように評価されているかを、把握の仕方を含めて説明してください。また、顧客からの評価を示すデータや指標があれば、あわせて示してください。

■顧客からどのように評価されているか、それをどのように把握しているか ※自己評価でも結構です。

■顧客からの評価を示すデータや指標 (直近3年程度) 利用者数 (利用者層別など)、売上・シェア、顧客満足度、リピート率など ※書ける範囲で結構です。

※ その他、顧客以外の外部から受けた評価 (受賞歴、メディア掲載などを含む) があれば、こちらにご記入ください。

7

8

9

b-6. **【サービスの改善・改革】** サービスの改善・改革、さらには次の開発をもたらすような仕組みや工夫について説明してください。

b-7. **【社会の発展への寄与】** このサービスが社会全体、業界や地域、従業員にもたらしている良い影響や結果を説明してください。これから期待されることでも結構です。

例) 生産性や付加価値の向上、経営システム革新、少子化対策・子育て支援、超高齢社会の医療・介護、働きがいや働きやすさ、地方創生・地域活性化、情報通信技術の活用・制御、国土構造やモビリティ、森林水産業のサービス化、グローバル展開とその実践、など

c. 応募事業者について

c-1. **【応募事業者の説明】** 経営や事業全体への思いや考え、事業全体における応募サービスの位置づけや狙いを説明してください。

c-2. **【財務情報】** 応募事業者全体での情報をご記入ください。 ※ 複数事業者が連携する場合は代表事業者の情報

決算期	(西暦)	3期前決算	2期前決算	前期決算
		年 月	年 月	年 月
売上高	(千円)			

記入のポイント

7

✓ **【顧客からの評価】:**

- ・顧客からどのように評価されているか、それをどのように把握しているか
- ・顧客からの評価を示すデータや指標(直近3年程度)利用者数(利用者層別など)、売上・シェア、顧客満足度、リピート率など

8

✓ **【サービスの改善・改革】:**

- ・サービスの改善・改革、さらには次の開発をもたらすような仕組みや工夫

9

✓ **【社会の発展への寄与】:**

- ・応募サービスが社会全体、業界や地域、従業員にもたらしている良い影響や結果など

※ これから期待されることでも結構です

応募フォーマットの記入について(4/4)

2ページ目 続き

※ その他、顧客以外の外部から受けた評価（受賞歴、メディア掲載などを含む）があれば、こちらにご記入ください。

b-6. [サービスの改善・改革] サービスの改善・改革、さらには次の開発をもたらすような仕組みや工夫について説明してください。

b-7. [社会の発展への寄与] このサービスが社会全体、業界や地域、従業員にもたらしている良い影響や結果を説明してください。これから期待されることでも結構です。

例) 生産性や付加価値の向上、経営システム革新、少子化対策・子育て支援、超高齢社会の医療・介護、働きがいや働きやすさ、地方創生・地域活性化、情報通信技術の活用・制御、国土構造やモビリティ向上、製造業・農林水産業のサービス化、グローバル展開とその実践、など

c. 応募事業者について

c-1. [応募事業者の説明] 経営や事業全体への思いや考え、事業全体における応募サービスの位置づけや狙いを説明してください。

10

c-2. [財務情報] 応募事業者全体での情報をご記入ください。 ※ 複数事業者が連携する場合は代表事業者の情報

決算期 (西暦)	3期前決算		2期前決算		前期決算	
	年	年	年	月	年	月
売上高 (千円)						
営業利益 (千円)						
従業員数(非正規含む)(人) ※						

11

※ 非正規の従業員数は、およそ1日8時間・週5日勤務で何人分に相当するかを目安に加算してください。

c-3. [応募経歴] 過去に本賞に応募されたことがありますか。ある場合にはサービス名もご記入ください。

過去の応募回 (✓をつける)	<input type="checkbox"/> 第1回(2015)	<input type="checkbox"/> 第2回(2017)	<input type="checkbox"/> 第3回(2019)	<input type="checkbox"/> 第4回(2021)	<input type="checkbox"/> 応募なし
前回応募時の サービス名					

12

以上

記入のポイント

10

✓ [応募事業者の説明]:

- ・ 経営や事業全体への思いや考え
- ・ 事業全体における応募サービスの位置づけや狙い

11

✓ [財務情報]: 応募事業者全体での情報を記入

- ・ 過去3期分の売上高、営業利益、従業員数

12

✓ [応募経歴]:

- ・ 過去応募実績を記入

※ 異なるサービスでの応募を含む

審査の流れ

- ✓ 経営者、学識者等の有識者で構成する日本サービス大賞委員会(委員長:村上輝康 産業戦略研究所代表)を組織し、同委員会の下に、専門家で構成する選考専門委員会を設置します
- ✓ 選考専門委員会が下記の審査プロセスにおける書類審査と現地審査を担当し、その審査結果をもとに日本サービス大賞委員会が選考を行い、関係各府省の手続きを経て、発表・表彰します

審査プロセス

※ 諸状況により変更になる場合があります。

2024年
8月～9月

書類
一次審査

- ✓ 応募書類により審査を行い、候補の絞り込みを行います

2024年
9月～12月

書類
二次審査

- ✓ 書類一次審査で絞り込まれたサービスについて、審査を行います
- ✓ 追加資料の提出をお願いする場合があります

2025年
1月～

現地審査

- ✓ 書類審査で絞り込まれたサービスについて、現地審査を行います
- ✓ 現地審査では経営者ヒアリングと現場確認を実施します

最終選考

- ✓ 現地審査の結果をもとに最終選考を行います。その後、関係各府省の手続きを経て、受賞サービスを決定します

2025年夏～秋 発表・表彰

よくあるご質問から

結果通知

- 書類審査が終了した段階で、通過した応募者には個別にご連絡します。また、現地審査に進まなかった場合は、結果を通知します

現地審査

- 選考専門委員による経営者ヒアリングや現場確認を予定しています。詳細は、書類審査を通過した応募者にご連絡します

日本サービス大賞WEBページにおいて、よくあるご質問をQ&A形式にて公開しています。右記QRコードから、ご確認ください。



応募のメリット



日本サービス大賞
NIHON SERVICE AWARD

応募すると

自分たちのサービスの特徴や課題など、新たな気づきが得られます！

受賞すると

その優れたサービス、日本全国にお伝えします！

受賞者の声

当社事業を多面的に見つめ直す大変良い機会になりました。さらに受賞により、働き甲斐や意識の向上にもつながったと思います。

サービス内容だけでなく、製造業がソリューションサービスに取り組む背景をご理解いただき、分析と評価をいただきました。

当社のようなソーシャルベンチャーが本賞を受賞できたことは、社内外からの信用と自信になりました。

中小企業の後継者という立場にある方は、自社の過去の取り組みを通して、未来の施策に繋げる必要がありますので、是非ご参加ください。

地方の小さな企業で応募することに悩みましたが、自社について俯瞰的に見つめなおす貴重な機会をいただけたことに深く感謝しております。

受賞により、弊社の理念やこだわりを実現できた一つの証明となりました。社員が働く上での自信や誇りにつながれたと感じています。

受賞はメディアにも取り上げられましたが、お客様の反響がとても嬉しかったことを覚えています。

受賞したことで勇気と元気を地域の方々へ届けることができ、そこからまた頑張る力を得たと感じています。

世の中にはまだまだ知られていない素晴らしいサービスが埋もれていると思います。本賞は脚光を浴びるひとつのきっかけになると感じています。

受賞組織からの応援メッセージ <https://service-award.jp/voice.html>

個別相談会の実施について

オンラインにて、応募に関する個別相談会を実施します。
相談をご希望の方は、日本サービス大賞ホームページよりお申込みください。

<実施日程>

5月29日(水)～7月18日(木)の期間
毎週水曜日、木曜日の10:00～16:30を予定

※ 1団体30分程度、3名様まで

第5回日本サービス大賞 個別相談会

https://www.service-js.jp/modules/contents/?ACTION=content&content_id=1954

